

株式会社倉岡紙工（熊本県上益城郡）

紙パッケージ業界の価値を高めたい

社員みんなで取り組む「身の丈DX」

主な事業内容：紙・パッケージ・包装容器等製造

1965年熊本にて創業。紙製パッケージの企画・製造、特に板紙を使用した印刷紙器とE段貼り合品を用いた美粧段ボール製の食品系パッケージを主に手掛ける。世界トップクラスを誇るクリーン紙器工場では、これまでは製造の難しかった医薬・化粧品といった分野にも進出。九州で完結できるリーディングカンパニーを目指している。

従業員：30名 HP：<https://kuraokashiko.co.jp/>

課題・背景

工場は老朽化が進み、製造環境は従業員の労働環境、安全面にいたるまで多くの問題が山積み、紙パッケージをつくる紙工業界そのものも、3K職場、きつい、汚い、危険というネガティブなイメージを持たれていた。

⇒ 熊本県で若く優秀な人たちが働く職場をつくりたい、彼らのためにも紙工業の地位を上げたい

改善に向けた取り組み

- ✓ 熊本地震で工場半壊したことがきっかけとなり、工場の建て替えを決意。業界ヘイノベーションを起こす新工場として生まれ変わるため、ピンチをチャンスに「創造的復興の実現」へ社員一丸となる。
- ✓ 新工場では、デジタル技術も活用しながら様々な取組を実施。**社員の意見を積極的に採用しながら**、また**外部の意見にも耳を傾けつつ**、身の丈にあったところからDXに取り組んでいる。

熊本県や産業技術センターに相談をしながら進めた 木型のIoT管理・シェアリング事業



RFIDタグを木型に付け、データベースで管理することで、取出が容易に。また木型をお客様同士でシェアすることで**初期投資を25%削減**。

マニュアルの動画化やSNSを活用した情報発信等、 デジタル技術を活用した社員の提案も採用



工場内での作業マニュアルを動画で若手社員が自主作成している他、SNSを活用した広報活動の開始する等、**社員の自発的な取組**も広がっている。



テクノロジーを活用した 西日本最大級のスマートファクトリー

2020年5月には「世界トップクラスのクリーン紙器工場」が本格始動。IoTやAI、ロボットを導入し、省人化、自動化を実現。紙の入荷から製品出荷まで一直線流れるような生産ラインにより圧倒的な生産性向上を達成。

DX化そのものに多額の投資が必須だとは思いません。

DXの推進には、まず身近な人に相談すること、そして外部からの意見に素直に耳を傾けることが大切だと考えています。

倉岡和徳
株式会社倉岡紙工
代表取締役CEO



今後

熊本から九州・全国に向けて、紙パッケージのイノベーションに挑戦していきたい